

養父市民憲章くやぶし愛く

が制定されました

養父市民憲章くやぶし愛く

あなたとわたしのこのまちは、氷の山の深き緑が源の歴史と文化を誇りとし、深い絆で結ばれた心のふるさと。わたしたちは、このふるさとをいつくしみ、今を懸命に生き、明日へとつなぐため、ここに誓います。

やさしき 信頼 思いやり

はぐくもう 和の心

ブナの大木 ミズバシヨウ

自然の恵み 守ります

しあわせ築こう ひろげよう

笑顔と感謝と真心で

愛の心で拓きます

いのち輝く

わたしたちの未来

むすび

わたしたちは、みんなのしあわせを願いながら、地球市民として誇り高く生きるため、この憲章の実践に努めます。

養父市民憲章くやぶし愛くについて

ふるさと養父市への愛着を深め、まちの一体感を高めるとともに、心をひとつにして豊かなまちづくりを進めるための市民みんなの誓いを示した「養父市民憲章くやぶし愛く」が制定されました。

●前文について

まちへの愛着と一体感を高める語りかけで始まる前文は、前段で養父市の誇りについて綴り、後段では、この憲章が愛するふるさとを明日へとつないでいくための誓いであることを表しています。

●本文について

本文は、親しみやすさと口ずさめることを基本に、言葉の響きとリズム感を大切にしながら4つの条文で構成しています。

▼4つの条文の頭文字をつなぐと「や・ぶ・し・愛」となります。暗唱するための工夫であると同時に、ふるさと愛

醸成への願いが込められており、養父市民憲章の副題にもなっています。

▼市民共通の夢や願いの中から、温かくて親しみが持て、分かりやすい言葉を中心に選んでいます。また、ふるさとをイメージできるように市花「ミズバシヨウ」、市木「ブナ」を用いています。

▼4つの条文の表現方法は、心を動かしやすく自主的な行動に結びつきやすい理念的なものになっています。

▼第1文【や】では、温かくて親しみのある言葉を七五調で並べ、リズム良く本文が始まるようにしています。「和の心」を大きく育てていくことを市民の誓いとして表しています。

▼第2文【ぶ】では、清らかなイメージの市花「ミズバシヨウ」と生命の源である市木「ブナ」を象徴的に示し、「生命」「やすらぎ」など私たちに与えてくれる自然の恵みを守り育てることを誓いとして表

しています。

▼第3文【し】では、笑顔と感謝の心を持つことを信義とし、しあわせの輪を大きく広げていくことを誓いとして表しています。

▼第4文【愛】では、まちの将来像を「いのち輝くわたしたちの未来」と表現しています。「いのち輝く」とは、すべての市民が、人として輝いて生きていく様を表したもので、お互いを尊重し合いながら、学ぶ喜び、働く喜び、そして

生きる喜びに満ちあふれていくまちの姿を将来像としています。家族愛、隣人愛、郷土愛、人間愛、人類愛などみんなの愛で「いのち輝く未来」を創っていくことを誓いとしています。

●むすびについて

むすびとして、ともに生きるあらゆる人々やすべての生命を尊ぶ地球市民としての認識にも立ち、この憲章を実践していくことを誓いとしています。